

地域と学校をつなぐ



上の写真は、知覧小学校の子どもたちと地域の方々と一緒に田植えをしている様子です。

この活動は、学校と地域の方々が、「一緒にやってみよう」「大切な行事だから残していきたい」との思いから、話し合っ
て決めた行事などを協働で行っているものです。誰でも気軽に参加し、地域と学校が手を取り合い、子どもたちと地域の方々のつながりをより深めていくこと、子どもたちの学びを高めていくことなどを目的としています。

これまでも「学校応援団」という類似した事業はありましたが、これは地域の方々が学校や子どもたちを応援・支援するというものでした。これからは、「支援」から「連携協働」という考え方のもと、地域と学校の両方が活性化する「地域学校協働活動」を推進していきます。

今回は令和3年度から始まった「地域学校協働活動」について紹介します。



地域と学校がパートナー

「地域学校協働活動」とは、「学校を核とした地域づくり」を目指し、地域と学校がパートナーとなり、連携しながら行うさまざまな活動のことです。

具体的な活動例としては、「放課後子ども教室」、「学校の授業支援」、「郷土学習」、「伝統芸能体験」、「史跡・歴史資料学習」、「学校と地域の行事」、「学校と地域の環境整備」、「登下校の見守り」などがあります。地域と学校で話し合い、今まで行ってきた行事の中から、交流がより深まる活動をいくつか選び、地域、学校および特定の人に負担がかからないように計画・実施していきます（新しい行事を創る必要はありません）。

絆を深める

地域の方々が、学校を中心に交流する機会を持つことで、住民同士の絆を深め、地域の活性化

を図ります。

子どもたちは、地域のことや人のことを知り、自分の住む地域の良さに気付いていきます。また、子どもたちの学びや成長を支えていくことにもつながり、結果的には、活動を通して、地域や学校をより良くしていくこととなります。

魅力ある地域が続くために

今後、市の人口や子どもの数が減っていくことは、どうしても避けられないことです。そうした中で、いろいろな課題が出てくることが予想されています。

例えば、地域行事や伝統芸能などができなくなったり、学校では、地域の有志を得て行っていた学校行事や子どもたちの体験活動が、人手不足で満足いくように進まなくなったりすることが懸念されます。

そうなる前に、学校と地域がそれぞれに残していきたい活動や行事を選び出し、無理なく続けられるように協力しながら準備し、実

施していくことが大切になります。「地域学校協働活動」をみんなが意識的に行っていくことで、いつまでも残していきたい地域行事や伝統芸能、史跡・歴史資料などが確実に受け継がれていきます。また、多くの人が触れ合うことで、住民同士の絆が深まります。さらに、郷土の良さに気付き、郷土に誇りを持つ子どもたちが増えていくことにより、潤いと活気に満ちた魅力ある地域が永く続いていくこととなります。



コーディネーターがサポート

南九州市では、令和3年度に知覧小学校区（知覧・手藁）と大丸小学校区、宮脇小学校区をモデル校区としてスタートしました。令和4年度は、中福良小学校区、浮辺小学校区、清水小学校区、九玉小学校区（御領）の4校区が加わり活動を行っています。令和5年度から市内すべての小学校区で活動できるよう準備を進めています。

令和3年度にスタートした地域と学校からは、「自分たちが住んでいる地域にこんな場所があったのを知って驚いた」、「行事に参加して、多くの地域の人たちと触れ合うことができてよかった」などの感想が寄せられています。

また、各地域にコーディネーターがおり、行事や活動ごとに、準備やサポートするため、誰でも気軽に参加することができます。

次ページでは、地域コーディネーターのお話やこれまでに行われた「地域学校協働活動」の様子を紹介します。

つなぐ楽しさ

大丸小校区地域コーディネーター

芦原 奈美子

去年から大丸小校区の地域コーディネーターとして活動しています。

主な活動内容としては、「さつまいもの苗植えから収穫」までと、大丸小学校の前の川を流れる「大谷川でのカヌー体験」大丸小校区内にある「君野タタミ店」での見学や、同じく校区内にある「ダム見学」など多岐に渡ります。

学校ではできない課外授業を、地域の方に協力していただき、子どもたちにさまざまな内容を体験してもらいます。

そして私の役割は、地域と学校を「つなぐ」ことです。

例えば、さつまいもの苗植え体験の際は、さつまいもを提供してくださる「松園農園」さんに連絡をして、日程の調整、当日のタイムスケジュール、現場の下見、トイレの場所の確保などを行います。

学校側と連携を取りながら活動を行います。改めて地域にはとても素晴らしい場所や、伝統文化、特産品があるのだという事を再認識させられます。

そして、体験を通じて得られる子どもたちの「楽しかった」の聲が聞きたくて、次はどんな体験ができるのかな？と私の方がワクワクします。

見て、触って、体感するという事は、子どもにとってはとても貴重な事だと思っています。学校ではできない課外授業ですが、こうして地域の方のご厚意で体験することができると、小規模校ならではのと思っています。

地域コーディネーターとして、学校との関わりもでき、そして地域の宝とも言える子どもたちとも触れ合うことができとても楽しい活動をさせていただいています。

人に会える楽しさと、人を「つなぐ」喜び、そして自分たちの住んでいる大丸小校区が、どれほど素晴らしい地域であるのかを、子どもたちに知ってもらいたく、今後とも頑張っていきたいと思っています。



宮脇小校区
さつまいも苗植え



知覧小校区
武家屋敷風門松としめ縄づくり
門松やしめ縄の意味の説明



大丸小校区
大谷川の生き物の生態学習
もくずカニの放流



清水小校区
史跡巡り

これまでに行われた「地域学校協働活動」の様子

〔問〕 社会教育課 社会教育係